


今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（6/12、1/11） ・本町3丁目2区サロン試行開催(8/10～)</li> <li>・コミ協福祉健康部今年度打ち合わせ（6/2、7/4）、緊急情報キットとりまとめ、配布(通年)</li> <li>・今年度取り組みについて打ち合わせ（8/3）</li> <li>・コミ協：ラジオ体操(平日毎日実施)、自学ひろば（学習習慣支援）年間22回</li> <li>・三善道の居場所(憩いの場「絆」：週1開催、夏休み子どもの居場所：8/23～8/25開催)</li> <li>・新津中央民協三役：歳末ふれあい弁当配食事業について意見交換（8/22）</li> <li>・本町2丁目1区と企業(明治安田生命)との合同清掃活動(6/25)</li> <li>・善道町1丁目自主防災（図上）訓練、相談（8/18、9/16）</li> <li>・秋葉1丁目と新津高校との支え合い除雪(町内検討会 12/17、高校との打合せ 12/27、1/24)</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学ひろばについて、他の学年からも要望があり検討が必要。</li> <li>・緊急情報キットの情報更新がされていない。記入のチェック(内服情報等)も行うと良い。</li> <li>・三善道憩いの場「絆」の広報を常に発信しているが、PTAへの周知の工夫が必要。(PTA役員が1年交替の為、定着が難しい)</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝のラジオ体操を休まず継続できた。参加者も増えており、つながりの輪が広がっている。</li> <li>・自学ひろばは20人以上の児童が来ており、保護者からも大変喜ばれている。子どもの居場所としても大事なふれあいの場所である。</li> <li>・緊急情報キットをほぼ全戸配布しており、情報用紙の更新についても意識が広がっている。</li> <li>・三善道憩いの場「絆」(毎週土曜日)に多くの参加者があり、誰でも来て良い居場所として浸透してきている。夏休みの自学ひろばも開催できた。YouTube配信でも広くPRできている。</li> <li>・本町3丁目2区で高齢者の交流活動を試している。来年度から本格的にサロン立ち上げ予定。</li> <li>・秋葉3丁目と善道町1丁目でごみ出しや歩道と高齢者宅の除雪支援を継続している。</li> <li>・町内会、婦人会等グループ、PTAと一緒に防災訓練を実施している。(田家2丁目)</li> </ul>
活動の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>コミ協 毎朝のラジオ体操</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三善道 夏休み自学ひろば</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本町2丁目1区 明治安田生命との清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>善道町1丁目 図上訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>秋葉1丁目 新津高校との除雪検討</p> </div> </div>
次年度へ向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操は全町内全戸配布でPRする。 ・自学ひろばの継続</li> <li>・三善道「絆」は若い人の意見を取り入れ、多世代が融合しながら継続していきたい。また、災害時のスマホ活用のしくみを検討したい。 ・多世代交流の計画を継続(中沢町)</li> <li>・祭りで地域を盛り上げる(三善道、秋葉1～3合同、下興野町、田家1～3、中沢町、本町4-2区)</li> <li>・困りごとの声があれば民生委員と町内会が連携して対応を継続。(田家2、本町4-2区)</li> <li>・学校の総合的な学習として地域行事に参加しながら地域を大切にすることを育む取り組みをしたい。(新津第一小 Co) ・地域と一緒に避難訓練を取り入れていきたい。(新津第一中 Co)</li> </ul>




[参加者] 新津中央コミ協：中村会長、小林副会長、小野沢副会長、本望事務局長、辻川会計、新津中央地区民協：吉川会長、三澤健康福祉部副部長、地域教育コーディネーター：山口コーディネーター(一小)、池野コーディネーター、菅井コーディネーター(一中)、秋葉3丁目町内会：安達会長、新津本町4丁目2区町内会：五十嵐会長、秋葉区社協：横山、加藤

地区名 **新津西部地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会(5/27、12/16) ・コミ協、地区社協今年度打ち合わせ(7/20)</li> <li>・ビジネスみゆき(生活支援)活動取材(5/26) ・新栄町支え合い移動支援打ち合わせ(町内会、ほっとサポートしんえい：5/12、6/15、7/13、9/6)、実施(10/3 いきいきサロン新栄町、10/6 新栄町しゃっきり体操ふれあいクラブ)、ふり返り(11/13)、以後毎月第1火曜(いきいきサロン新栄町)、毎週金曜(新栄町しゃっきり体操ふれあいクラブ)移動支援継続</li> <li>・天神居場所づくり打ち合わせ（町内会、コミ協、地区社協：10/10）、サロンの意義説明（町内会：10/26）、居場所づくり検討会（町内会、若葉会：12/6、2/24 予定）</li> <li>・古田町内会歳末ふれあい弁当打ち合わせ（町内会三役、福祉部、民生委員、コミ協、地区社協：8/2、町内会、福祉部、民生委員 10/11）、ふり返り（町内会、民生委員、福祉部、コミ協、地区社協：1/17 予定）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防教室の参加者を増やすための工夫を検討したい。・高齢化により担い手がない。</li> <li>・緊急情報キットの活動の周知や更新のあり方を検討していく必要がある。</li> <li>・学校から児童の情報が来なくなった為、家族票が無い町内会では世帯状況の把握が困難である。</li> <li>・支援が必要な人の把握ができない。どうしくみをつくるのが課題である。</li> <li>・誰でも気楽に集まれる居場所を作りたい。（組織に重点をおかない）</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスみゆきの活動が口コミで依頼が増えており、特に一人暮らしの高齢女性の支えとなっている。今後も作業を通じコミュニケーションを大切にする。</li> <li>・新栄町支え合い移動支援の検討を5回重ね、10月にスタートすることができた。ほっとサポートしんえいと地域との連携により円滑に実施しており、参加者が安心して参加できている。</li> <li>・天神の居場所づくり検討会を開催し、高齢者のつながりの場の必要性も確認できた。</li> <li>・古田の歳末ふれあい弁当配食及び見守り訪問にあたり、町内会三役、福祉部、民生委員が結束し、打合せを重ねたことで不安無く訪問することができ、対象者からも大変喜ばれた。</li> <li>・家族票の中で、災害時の助けが必要な人から書いてもらい把握している。</li> <li>・サークルに助成することで町内活動へ協力をもらっている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	 <p>新栄町支え合い移動支援検討会</p> <p>新栄町支え合い移動支援実施</p> <p>天神町内会居場所づくり検討会</p> <p>古田町内会歳末ふれあい弁当検討会</p> <p>ビジネスみゆき生活支援</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急情報キット推進の継続 ・フレイル予防の推進</li> <li>・居場所の立ち上げ(天神、美善町、山谷町1) ・生活支援(美幸町)、移動支援(新栄町)の継続</li> <li>・小中学校への協力活動の継続(花植え等を通じた地域交流)</li> <li>・つながりの機会や見守り活動の推進(飼い犬等を介したコミュニケーション)</li> <li>・歳末ふれあい弁当の地域連携による配食及び見守り訪問を広げる。</li> <li>・コミ協、町内会が情報交換を行いながら、より良い地域づくりを進めていく。</li> </ul>






[参加者] 西部コミ協：蓮沼会長、奥山副会長、内田副会長、小松副会長、斉藤事務局長、江口事務局、新津西部民協：長井副会長、町内会：明間会長(天神)、中村会長(山谷町1)、田邊会長(山谷町2.3)、川崎会長(古田)、五十嵐会長(南町二区)、小林会長(緑町)、青柳会長(さつき野1)、秋葉区社協：横山、加藤

地区名 荻川地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（6/15、1/18）</li> <li>・あったかネット協力会員交流会（7/2）</li> <li>・荻川地区社協今年度打ち合わせ（4/6、5/12、5/31、6/9、6/23、7/7、8/4、9/1、10/6、11/10、12/1、1/5、以降予定2/2、3/1）</li> <li>・荻川子ども食堂開催</li> <li>・子ども食堂立ち上げ相談（8/7）</li> <li>・荻川地区福祉推進会議及び幹事会（地域福祉活動計画の推進：6/15、7/20、10/27、11/24）</li> <li>・荻川地区ふれあい弁当打ち合わせ全体会(9/21)車場3丁目(9/30、11/27、ふり返り1/20)こがね町(10/3、ふり返り1月書面)</li> <li>・結小学校高齢者体験（地区社協やすらぎの間紹介：9/26）</li> <li>・荻川やすらぎの間支え合い移動支援検討会（10/27、11/9、12/7、1/26 予定）（覚書調印1/11）</li> <li>・荻川支え合いフォーラム（12/3）</li> <li>・サロン新規立ち上げ（4月車場町内会、7月長割自治会）</li> <li>・地域の茶の間「やすらぎの間」運営（週1開催）</li> <li>・相談一覧表作成のための共同募金申請</li> <li>・荻川地区福祉活動ファイルの作成</li> <li>・あいさつ運動で子どもたちの標語を募集</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネットの訪問先で、家族が出てきて本人と会えない世帯がある。</li> <li>・アパートに暮らす高齢者の見守りに難しさを感じている。（民生委員）</li> <li>・高齢者だけでなく、子どもとの関りも考えていくと良い。</li> <li>・避難所の車椅子関係の検討が必要。</li> <li>・中野1～5丁目連合会としての活動が難しい。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネット(16自治会、73世帯80名が利用、協力員80名)、協力員交流会では、見守りの必要性を再認識し合い、また日頃の想いを話し合える場となった。車場3丁目では、毎月あったかネットの連絡会を継続している。</li> <li>・子ども食堂のボランティアが増えた。若い世代から高齢者までの参加があった。</li> <li>・荻川支え合いフォーラムでの中学生の参加は大変良かった。これからは若い人も入れていくと良い。</li> <li>・認知症の方への対応が課題となっている。</li> <li>・あいさつ運動の標語の応募が約500件あった。</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食を自治会、町内会と民生委員の連携により円滑に実施し、対象者からは大変喜ばれた。（車場3・こがね町）</li> <li>・居場所を立ち上げることができた。（長割、車場3）</li> <li>・藤の木原福祉会との連携により、荻川やすらぎの間の送迎支援を2月に開始する運びとなった。</li> <li>・緊急情報キット配布事業が浸透しており配布数が毎年増加している。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>荻川やすらぎの間 支え合い移動支援検討会</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>荻川支え合いフォーラム</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>荻川地域福祉推進連絡会議</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>歳末ふれあい弁当配食事業検討会</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>藤の木原福祉会との覚書調印</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>車場3丁目</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>こがね町</p>  </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネットの継続(自治会・町内会、民生委員、協力員、老人クラブ等と連携)</li> <li>・緊急情報キットの配布、情報内容の更新を継続</li> <li>・防災「我が家の避難所」の継続</li> <li>・荻川やすらぎの間の継続（藤の木原福祉会と連携した移動支援）</li> <li>・荻川子ども食堂と川口ほうかご広場の連携を継続。</li> <li>・子どもの居場所、ふれあいの場の検討。</li> <li>・防災をキーワードにした活動をしていきたい。</li> </ul>

[参加者] 荻川コミ協：窪田会長、加納副会長、中村副会長、田中副会長、鈴木事務局長、  
 荻川地区社協：関代表、石井副代表、星副代表、関道子副代表、曾我さん、五十嵐さん、  
 荻川地区協議会：田中会長(あおば通町内会会長)、五十嵐さん(中野3丁目町内会会長)、田村さん(中野5丁目町内会会長)、木村さん(車場町内会連合会会長)、荻川民協：中野会長、横山副会長、田辺副会長、高橋会計、  
 区老連荻川協議会：久保田会長(荻島荻友会会長)、 秋葉区社協：横山、加藤

地区名 満日地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物送迎支援（4/11 同行、4/26 コミ協と今後の動きについて打ち合わせ、4/27 利用者との意見交換会、5/12 施設との意見交換会、7/3 全体振り返り）【第2, 4 火曜日実施（冬期間除く）】</li> <li>・コミ協三役との打ち合わせ（6/15、7/26、12/20 今年度の活動について）</li> <li>・満日声かけ訪問活動（6/19、9/15 同行、9/12 打ち合わせ会）</li> <li>・満日地区福祉懇談会（6/27、1/25）</li> <li>・障がいの理解の講座（8/29 施設との打ち合わせ、9/12 コミ協との打ち合わせ、11/15 講座）</li> <li>・9/7 認知症講演会（生き生き講座）にて認知症のチラシを活用し、正しい理解について周知</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物送迎支援に参加したくても足が悪かったり、実施日がDS だったりと参加できない方もいる。</li> <li>・声かけ訪問活動では、訪問員への研修や困りごとを聞いたときどのように対応するかなどのガイドブックがあるとよい。ごみ出しを手伝ったこともあるがどこまでの支援をするか、対象者をどこまで広げるか、自治会との連携など検討が必要。</li> <li>・障がいの理解の講座はとてもよかったため、多くの方に参加してもらえるような広報の工夫が必要。</li> <li>・ふるさと健康講座では広報の工夫をしたが、参加者数の変化がなく、内容の検討もできるとよい。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物送迎支援の参加者は喜ばれており、外出の機会の提供によりフレイル予防にもつながっている。</li> <li>・障がいの理解の講座で施設見学ができ、とても勉強になった。コロナで中止されていた癒しの福祉ゾーンのまつりの時にも見学できるとより交流が深まると思う。</li> <li>・認知症講演会の内容はとてもよかった。今後、フレイル予防教室や心の病など他の事業と一体的に取り組みを考えていくのもよいと思う。</li> <li>・文化祭で障がい者施設のパン販売も行うことができた。より参加者が増えるようバザーの開催や PTA との連携なども考えていきたい。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>買い物送迎支援</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>全体振り返り</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>満日声かけ訪問活動</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>打ち合わせ会</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>障がいの理解の講座</p>  </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物送迎支援は、よりよい活動となるよう施設との打ち合わせを行った上で、継続して取り組む。</li> <li>・癒しの福祉ゾーンの施設との交流が深まるよう、施設と協力していく。</li> <li>・声かけ訪問活動の課題についてコミ協及び訪問員と検討する。</li> <li>・各部会の活動は来年度も継続して実施する。環境・安全部では防災士についても考えていきたい。</li> <li>・子どもや子育て世帯の参加が広がるよう、PTA との連携なども考えていく。</li> </ul>

[参加者] 満日コミ協：長谷川会長、菅井副会長、皆川副会長、柳澤副会長、小濱会計、坂爪事務局次長  
 高橋福祉健康部長、皆川福祉健康部員、渡辺総務部長、昆環境・安全部長  
 坂井声かけ訪問員、満日地区社会福祉部特別部会：山田部員、田中部員、小池部員  
 秋葉区社協：横山事務局長補佐、熨斗、時田

地区名 **新津東部地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新津東部地区福祉懇談会（5/18、1/18） ・6/13 新津清掃社とごみ出し支援事業打ち合わせ会議</li> <li>・東部地区社協三役との打ち合わせ（7/4、10/12 今年度の活動について）</li> <li>・草水町町内会（9/8 防災を通じた見守りについての打ち合わせ、9/27 ちやおの会防災研修会、11/19 草水町防災訓練）</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業（11/24 民生児童委員との打ち合わせ、12/23 訪問）【新町・草水町】</li> <li>・12/2 いきいきサロン情報交換会</li> <li>・2/17 常任委員・福祉委員合同研修会（予定）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンに参加したいけれど、移動手段がなく行けない方がいる。参加したいという気持ちは大切にしたいが、支援するにはどのくらいの方が送迎を希望しているのか調査が必要。</li> <li>・事故の心配を考えると簡単に送迎をすることはできないため、送迎に関わる保険を周知して検討を促していくのも必要ではないか。</li> <li>・世代間交流を目的に立ち上げたサロンではあるが、若い方の参加が少なくスタッフも高齢となり、継続していくのが難しくなっている。</li> <li>・歳末ふれあい弁当を見守りも兼ねて地域で訪問することについて、初めてだったため、事前の準備や調整に時間がかかった。（草水町）</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内で助け合うのが当たり前になっていて、町内の行事への送迎ができているところもある。</li> <li>・歳末ふれあい弁当を見守りも兼ねて地域で訪問することによって、草水町では、久しぶりに会えた方がいたり、サロンに誘うことができたりと町内に一体感が生まれた。新町では友愛訪問の担当が届けられているため、問題なく取り組めており、受け取る側も業者からもらうより安心感がある様子だった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	 <p>草水町町内会</p> <p>打ち合わせ</p> <p>防災研修会</p> <p>防災訓練</p> <p>サロン情報交換会</p> <p>歳末ふれあい弁当配食事業</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各サロンの課題については、送迎に関する保険の情報提供などを行いつつ、サロンごとの検討を促し、地区社協の支援が必要な部分に関しては連携していく。</li> <li>・サロンの趣旨（世代間交流）や支え合いのしくみづくりを再認識してもらえよう周知していく。</li> <li>・若い方が新たなグループが立ち上げやすいような雰囲気作り、きっかけ作りができるとうい。</li> <li>・歳末ふれあい弁当については、常任委員・福祉委員合同研修会において見守りを兼ねた地域での訪問ができないか相談し、検討できる町内から検討をしていく。</li> </ul>




[参加者] 新津東部コミ協 : 石澤会長、小林副会長  
 新津東部地区社協 : 古川委員長、中野副委員長、木津委員、馬場委員  
 秋葉区社協 : 横山事務局長補佐、熨斗、時田

地区名 **阿賀浦地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミ協事務局長との打ち合わせ（4/24、7/13、8/16、11/1 キットについて）</li> <li>・ 阿賀浦地区福祉懇談会（6/23、12/14）</li> <li>・ 困った時の相談シート作成、配布（8/1）</li> <li>・ 緊急情報キットを活用した見守りについての意見交換会（8/24 東金沢、大安寺、8/25 東町、8/29 中新田、9/1 新金沢町）</li> <li>・ 新金沢町自治会の見守り活動（9/1 自治会長と打ち合わせ、9/4 同行、10/20,12/4 役員と打ち合わせ）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急情報キットについて、目的や趣旨が地域に伝わっていない、保管場所が統一されていない、配布を希望する人が少ない等の課題があり、キットを活用した見守りについても今後検討が必要。</li> <li>・ 困った時の相談シートを全戸配布したが、失くしてしまった人もいた。説明しながら配布できるとよいが、自治会としても限界がある。今後、記載の連絡先の変更がないか確認していく必要もある。</li> <li>・ 新金沢町の見守り事業について、心配な方は多くいるが全員を見守っていくことは難しい。どのような方法だと訪問しやすく、対象の方も希望しやすいのか検討していくことが必要。</li> <li>・ ゴミ出しに困っている方への支援が簡単にできるとよい（ふれあい福祉サービスなど）。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急情報キットについて、町内ごとに説明や意見交換を行うことができ、町内の役員にキットについて理解してもらえらる機会となった。</li> <li>・ 東金沢自治会において、リストを作成し、緊急情報キットの活用の確認に訪問できたのはよかった。</li> <li>・ 困った時の相談シートについては、高齢者だけでなく子どもや子育て、障がいなど様々な方が活用できるように工夫して作成でき、民生児童委員の相談対応の際にも活用できた。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<p>緊急情報キットを活用した見守りについての意見交換会</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急情報キットを活用した見守りの課題については、自治会・町内会ごとに検討会を開催し、町内の状況に合った形での取り組みができるよう検討していく。また、キットの周知について、広報誌や町内の行事、サロンでの周知等工夫していく。</li> <li>・ 困った時の相談シートについては、キットを配布する際に一緒に説明するなど、配布するだけでなく継続的に周知していく。買い物に困っている方が心配なため、移動スーパーや買い物代行などの情報も共有していけるとよい。</li> <li>・ 新金沢町の見守り事業では、対象の方をはじめとして地域住民の声を聞くことで課題を整理し、よりよい取り組みへとつなげていく。</li> </ul>

[参加者] 新金沢町自治会：柿本会長、重川副会長、田中様、鈴木民生児童委員、吉川民生児童委員  
 東町町内会：湯田会長（コミ協事務局長）、高橋副会長 東金沢自治会：遠藤会長、名古屋副会長  
 大安寺自治会：坂口会長、坂口民生児童委員、徳永主任児童委員  
 中新田自治会：荒木会長、佐藤民生児童委員 秋葉区社協：横山事務局長補佐、熨斗、時田

地区名 **新関地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協福祉健康部役員との打ち合わせ（5/31 支え合いのしくみづくりについて）</li> <li>・三者（小学校・保育園・コミ協）合同避難訓練、防災講演会（6/16）</li> <li>・新関発健康行き（6/21 健康チェック）</li> <li>・コミ協との打ち合わせ（6/30、8/2 今年度の活動について）</li> <li>・新関地区福祉懇談会（7/11、12/20）</li> <li>・移動支援、相談一覧表についての検討 （9/8 こぐち苑との打ち合わせ、10/5 第1回検討会、11/9 第2回検討会）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い年齢層を対象にした取り組みを行い、つながりを作っていくことが大切。</li> <li>・高齢者の買い物や通院が心配なため、支援の方法を考えていかなければならない。</li> <li>・困っている方がどこにいるのかの把握が大切であるが、コミ協で課題を把握していくことは難しい。</li> <li>・今後何をしなければならないか整理し、自治会との連携など体制づくりが必要になってくる。</li> <li>・防災について、コミ協も自治会もそれぞれで取り組みを行っているため、役割を整理することが必要。</li> <li>・コロナ禍を経て、町内のモチベーションが上がらず、茶の間や老人クラブの活動が再開できていない。</li> <li>・支え合いのしくみづくりを知らない若い方も多い。</li> <li>・コミ協の事業が多いが、役員が高齢化しており、若い役員が少ない。イベント型の取り組みだけでなく、何に繋がっていくか考えつつ取り組みを進めていかないといけない。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取り組みはとても良いものだったと思うため、次年度も継続していきたい。（青パト・子ども等）</li> <li>・児童クラブにおいて、地域の芸能ボランティア等と連携することで、子どもたちにいろいろな経験をしてもらうことができた。</li> <li>・未来ビジョンの検討を通して子育て世代の話を聞くことができた。</li> <li>・コロナが5類に移行したことによって、町内の行事も復活してきている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>防災講演会</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>移動支援検討会</p>  <p>第1回</p> <p>第2回</p> </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来ビジョンで検討したこととリンクさせながら、取り組みを考えていきたい。また、未来ビジョンを通してできたつながりを絶やさないうように考えていきたい。</li> <li>・高齢化を見据えた取り組みを考えていく必要がある。</li> <li>・自治会ごとの取り組みを共有する機会を作れるとよい。</li> <li>・防災について、自治会とコミ協の役割を整理し、連携して取り組んでいきたい。</li> <li>・子どもだけでなく、地域の見守りとして青パトを継続していく。</li> </ul>

[参加者] 新関コミ協：渡辺会長、長谷川副会長、松田副会長、山崎会計、吉田事務局長

専門部 防災部：阿部副部長 安心安全部：土田部長、高橋副部長、廣田副部長

福祉健康部：松屋部長、繁野副部長、土田副部長、土田副部長 文化教養部：土田部長

児童クラブ運営部：渡辺部長

支え合いのしくみづくり：堤構成員（老人クラブ会長）

秋葉区社協：横山事務局長補佐、熨斗、時田

地区名 小合地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小合地域福祉懇談会（6/7、1/16）</li> <li>・なじらて訪問（7月、12月）</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業（8/8 地区社協三役と打合せ、10/24 打合せ、11/22 検討会、12/23 実施、1/16 振り返り）</li> <li>・愛さつ運動（5月、9月）</li> <li>・フレイル予防教室（8/30、9/27）</li> <li>・クリスマスの集い（12/10）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小合地区全14サロンの内、現在6サロンが休止している状態である。地域活動の経験がない人が多く、後継者が課題となり運営継続が難しい。</li> <li>・サロンの参加者が固定化しており、新規参加者を増やしたい。また、男性の参加者も少ない。</li> <li>・サロンが休止している地区への声かけや、サロン同士合同での開催を検討していきたい。</li> <li>・一度休止や解散したサロンを再度立ち上げるため、自治会・町内会と連携していきたいが、サロンの趣旨などの伝え方が難しい。</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業等の見守り活動の中で、認知症の方と会うことができないなど、対応が難しい状況。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじらて訪問や歳末ふれあい弁当配食事業では、地域で予定している行事の情報提供や、サロンのチラシ配布などを併せて行い、地域での見守り活動のきっかけとなった。また、対象者も訪問に対して喜んでおり、地域でのつながりを改めて確認できた。</li> <li>・クリスマスの集いではサロンと協力し、子どもと保護者の参加による、多世代交流となった。</li> <li>・小合小学校の総合学習で子ども達がサロンを立ち上げ、さくら会が参加するという交流を行った。今後はサロンを通して子ども達との交流の場を増やすことができるか検討したい。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	 <p>The images show: 1. A home visit where a staff member is talking to an elderly person. 2. A meeting titled '歳末ふれあい弁当配食事業検討会' (Year-end Fureai Bento Distribution Business Meeting) with people seated around tables. 3. A Christmas gathering with people seated at tables.</p>
<p>次年度へ向け</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①悩みを抱えた方の居場所づくりの検討（ひきこもりや不登校などを対象にコミセンでサロンを開催できないか）</li> <li>②サロン活動の充実・拡大（休止しているサロンの参加者へ、現在運営しているサロンへの参加の声掛け。自治会・町内会との連携の検討。男性の参加者増加を目指し、行事の見直し・工夫。サロンの合同開催で地域を越えた活動の検討。）</li> <li>③地域間の交流の検討（学校との交流、多世代交流となる行事の検討。） →学校開放など場所の提供や、子どものサロン参加について等検討。</li> </ol>

[参加者] 小合コミ協：阿部会長、野瀬山副会長、稲月副会長、澤田副会長、高橋副会長、今井事務局長  
 民生委員：古田会長、田村副会長、大橋委員、小林委員、高橋委員、内藤委員  
 地区社協：鈴木幹事、藤田幹事、大竹幹事、高野幹事、押味幹事、井浦幹事、江口幹事  
 古田幹事、星野幹事、井村幹事 区社協：横山補佐、小林地区担当、吉岡 SC



地区名 **金津地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（5/28、2/1） ・地区社協の取り組みについて打ち合わせ（7/21、9/1）</li> <li>・地区社協勉強会（5/25 社協・包括について、8/4 見守りについて）</li> <li>・地区社協「地域の茶の間いっぶく」送迎支援検討（9/1）、実施</li> <li>・防災訓練（6/25） ・小中合同防災訓練（9/29）</li> <li>・金津小学校4年生総合学習（10/24 高齢者と交流、11/1 子どもの見守りについて）</li> <li>・様々な見守り活動継続 ・ゴミ出し支援事業の情報交換（2月実施予定）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問やゴミ出し支援などを受けることに遠慮や隣近所の目を気にすることで利用につながらない人もいる。関わり方の工夫等が必要である。</li> <li>・日頃見守り活動を行っているが、緊急時の対応についてはどうしたらよいか心配ごとがある。</li> <li>・数年前より地域の福祉活動は進んでいるが、力のある自治会やリーダーがいるところが多い。</li> <li>・子どもたちの状況があまりつかめない。また、学童以外に放課後の子どもたちの居場所がない。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆で積極的に関わることで、アイデアも沢山あがり、楽しみながら取り組むことができた。</li> <li>・茶の間（コミセン）まで行く手段がない方に試験的に地区別にタクシーでの送迎支援を行ったところ、今まで来れなかった人が参加できるようになり、大変喜ばれている。</li> <li>・見守り訪問で高齢者の力強さを感じエネルギーをもらっている。見守り活動はお互いさまの活動である。</li> <li>・町内の行事を通して、人と人のつながりができており、それが一番大事である。</li> <li>・自治会内の懇談会の機会に認知症の講習について情報提供したところ、町内での実施に向けて進めることができた。</li> <li>・自治会の防災体制を整え、避難場所の検討や安否確認、炊き出しの訓練等行った。また、福祉活動は、すべて防災につながっており、有事の際に生かすことができた。</li> <li>・地域内の危険箇所等、自治会や関係団体と情報共有することで解決につながった。</li> <li>・路線バスの経路等、中学生の部活帰りや高齢者の足として利用できるよう協議を進めている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	 <p>地区社協勉強会</p> <p>金津小4年生総合学習</p> <p>防災訓練</p> <p>各地区茶の間開催</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の茶の間いっぶく」での送迎支援本格実施へ向けてガイドラインの作成</li> <li>・見守り訪問やゴミ出し支援を必要とする人が利用しやすい地域づくり</li> <li>・見守り対象者が増えたり、訪問者が交代になっても、取り組みが継続できるしくみづくり</li> <li>・子どもに関する情報の共有や取り組み、また、子どもたちの放課後の居場所の検討</li> <li>・災害時の要支援者の対応の検討 ・地域の福祉活動の情報共有</li> </ul>

[参加者] 金津コミ協：青木会長、齊藤副会長、植木会計、萱森事務長  
 金津地区自治会町内会長会：今井会長、伊藤副会長、小川会計  
 金津地区社協：小林委員長、中川副委員長、小林委員、五十嵐委員、御子柴委員  
 金津地区民児協：茨木会長、太田副会長、長谷川副会長、高橋民生委員、沼田民生委員、小坂民生委員、長谷川民生委員、宮崎民生委員、楠原主任児童委員  
 秋葉区社協：横山、藤田、吉岡

地区名 小須戸地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小須戸地区地域福祉懇談会（6/19、1/22） ・地域の茶の間こすど参加者増加の検討(7/3)</li> <li>・小須戸地区移動支援事業 検討会(5/10、7/5、7/24、9/14)、打合せ(6/14、6/26、7/20)</li> <li>緑花園契約(9/4)、地域への説明会(8/6 小向、8/11 水田、8/23 横川浜)、運転レク・施行運転(9/12、9/19)、本格実施(10/3)、ふり返り(12/8)</li> <li>・だんだん・嶋岡子どもの居場所実施(7/25、8/1、8/8、8/22、8/29)、ふり返り(1/17)</li> <li>・サードプレイススポーツフェスタ(6/7 中学生と情報交換、10/7 実施)</li> <li>・地域お手伝い隊打合せ・反省会(4/7、7/20、11/8、11/16)</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業の検討(12/13 中学生打合せ、12/23 実施)</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援の活動内容の整理やボランティアへの説明の検討。</li> <li>・「地域の茶の間 こすど」の参加者が減少しており、周知・広報の工夫が必要である。</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業の中学生ボランティアの参加について、時期を早めると部活で参加が難しくなる。また、弁当だと内容量が多く、当日での消費が難しい。</li> <li>・サードプレイスの周知や、スポーツ体験の敷居が高くない工夫が必要。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援の利用者から、活動へ好評をいただき、今後も継続の希望がある。また、空き時間のほっとカフェの利用により、地域交流の場となっている。</li> <li>・水田では現在、茶の間はないが、12月から「お茶飲みませんか」と声かけをした。つるし雛や認知症の話など内容が変化してきている。高齢者クラブが地域の居場所となっており、若齢者や、60代の高齢者も参加してくれるようになった。</li> <li>・地域お手伝い隊とワークセンターほほえみで連携して活動できた。</li> <li>・だんだん・嶋岡で子どもの居場所の開催について、学校とつながりながら周知できた。</li> <li>・スポーツフェスタのチラシを子どもと作り、地域と関わりながら活動ができている。</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業の中学生ボランティアが、来年度以降の継続的な参加に意欲的だった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>小須戸地区移動支援</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>だんだん・嶋岡 子どもの居場所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域お手伝い隊</p> </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援の活動継続、取り組み方の整理</li> <li>・地域の茶の間の活動継続、周知の工夫</li> <li>・地域お手伝い隊の活動の検討（ワークセンターほほえみとの連携の継続、取り組み方の整理）</li> <li>・サードプレイスの周知、子どもの居場所や長期休みの弁当配食を検討</li> <li>・だんだん・嶋岡での子どもの居場所づくりの継続、生活支援の検討</li> </ul>

[参加者] 小須戸コミ協：木村会長、佐藤副会長（事務局長）  
 小須戸コミ協福祉部会：長澤部会長、米田部員、五十嵐部員  
 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員：土屋委員  
 小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：大貫構成員  
 秋葉区社協：横山事務局長補佐、小林、吉岡

地区名 山の手地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（5/31、1/30） ・今後の取り組みについての打ち合わせ（8/23）</li> <li>・矢代田小学校4年生総合学習（高齢者にインタビュー6/15） ・福祉視察研修（7/11）</li> <li>・防災視察研修（8/8） ・山の手ふれあいまつり（9/23） ・支え合い講演会（11/26）</li> <li>・支え合いのしくみづくり周知（10/11 矢代田公会堂茶の間、10/19 いこてばこいてばふれあい会館、11/24 松ヶ丘さくら会）</li> <li>・ワンコインこいてば酒場（7/29、9/30、11/26） ・舟戸1.2自治会防災打ち合わせ（9/28、1/26）</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業（12/13 打ち合わせ、12/23 訪問、1/24 反省会）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に固定の参加者だけでなく、自治会やサークル等新しい方の参加がないと支え合いが広がっていかない。</li> <li>・茶の間（いこてば こいてば ふれあい会館）では、参加者が高齢になってきており、小学生との交流の対応が難しいところが出てきている。また、免許返納等で来れなくなる人もいるが、そのような人たちこそ来てほしい人であり、継続的に来てもらえる手段を考えていきたい。</li> <li>・自治会へ防災の取り組みを広めていくことが難しい。有事の際は安否確認が必要となる。</li> <li>・コロナ禍を経て、学校行事等が戻ってきている中で、ふれあいまつりの子どもたちの関わり方が今までと同じままだと子どもたちに負担がかかってしまう。</li> <li>・多面的な要望が多く、取り組むべきものが増えているが、整理が必要である。また、ひとりの人に負担がかからないよう、みんなが応援するスタイルを考えていかなければならない。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い講演会を開催し、数は少ないが新しい方からの参加もあり、さりげない話題から地域の良いところや課題など様々な話を引き出すことができた。</li> <li>・ワンコイン酒場では、幅広い年代の人が集まり、交流の場となっている。今後は、運営方法を検討していく。また、来年度は、少し形を変えて子どもから大人まで誰でも集まれるふれあい（ワンコイン）食堂をやってみたい。</li> <li>・防災学習やふれあいまつりでは、保護者の参加や協力があつたことが大きかった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業等に新しい参加者や活動者を増やし、支え合いを広める</li> <li>・ワンコイン酒場の継続と子どもから参加できるふれあい食堂の検討</li> <li>・地域の茶の間「いこてば こいてば ふれあい会館」と小学生の交流の工夫、免許返納後の参加継続のための工夫</li> <li>・地域の茶の間「いこてば こいてば ふれあい会館」と連携した助け合い活動である人知笑会の継続</li> <li>・自治会の防災への取り組みの啓発、推進（安否確認の方法、活きた防災訓練）</li> <li>・ボランティアへの参加増から後継者の育成へ</li> <li>・取り組みの整理と負担が偏らない地域総出で手伝えるスタイルの検討</li> </ul>

[参加者] 山の手コミ協：横山会長、保科事務局長、春日事務員

福祉部：五十嵐部長、増井副部長 健康スポーツ部：五十嵐部長

ふれあい事業部：村上部長 防災・防犯部：古泉副部長

秋葉区社協：横山、藤田、吉岡